

平成30年度「携帯電話などの利用状況に関するアンケート調査」の結果について

1 調査の概要

- (1) 調査日時 平成30年7月
 (2) 対象 立川市立小・中学校に在籍する小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒及び校長
 ※ 各学年1学級を抽出して実施（ただし1学年5学級以上の学年は2学級で実施）

- (3) 目的 児童・生徒のSNS学校ルール及び家庭ルールの活用、策定状況を把握するとともに、児童・生徒のSNS使用についての意識やトラブル等の現状を捉え、今後の各学校における人権教育、安全教育、情報モラル教育等の充実に資する。

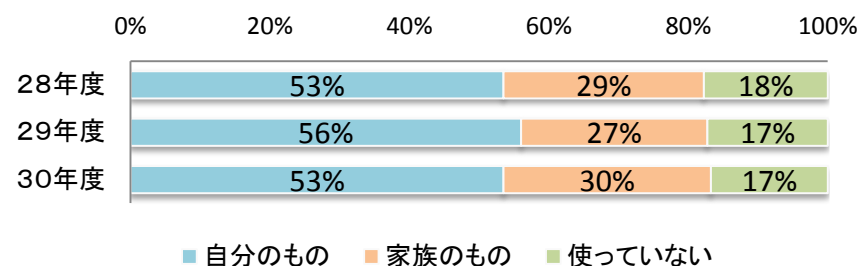
2 結果の概要

I 中学校における携帯電話等の所持率が増加

「あなたは、携帯電話またはスマートフォンを使っていますか。」

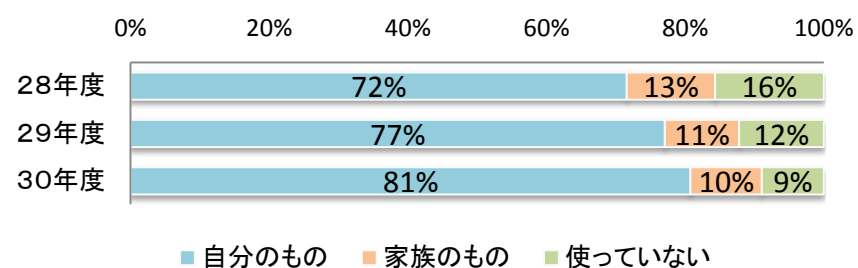
【小学校】

	自分のものを持って使っている	家族のものを借りて使うことがある	持っていないし使っていない
小学4年	51%	31%	18%
小学5年	53%	30%	17%
小学6年	56%	28%	16%
小学校計	53%	30%	17%



【中学校】

	自分のものを持って使っている	家族のものを借りて使うことがある	持っていないし使っていない
中学1年	78%	13%	9%
中学2年	83%	9%	8%
中学3年	82%	9%	10%
中学校計	81%	10%	9%



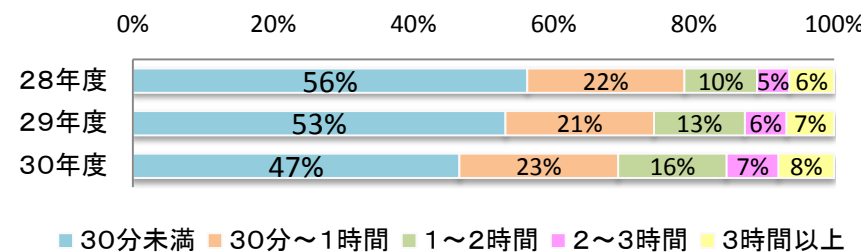
○ 小学校では学年が上がるにつれて所有率が高くなる傾向があるが、経年での変化は見られない。それに比べて中学校では自分のスマートフォン等の所有率が年々高くなってきている傾向が見られる。

II 小中学校とも使用時間が増加傾向

「携帯電話やスマートフォンを一日にどの位の時間使っていますか。」

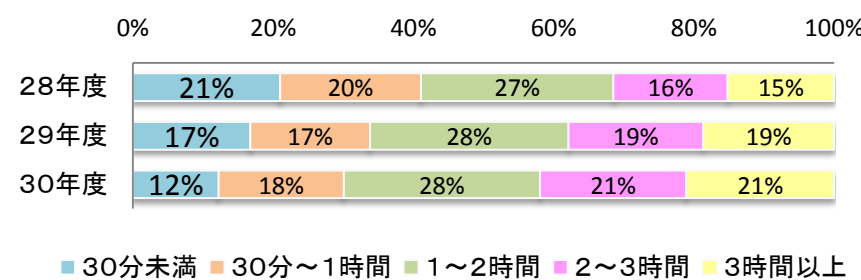
【小学校】

	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間～3時間	3時間以上
小学4年	56%	22%	12%	4%	6%
小学5年	46%	23%	17%	7%	6%
小学6年	38%	22%	18%	11%	11%
小学校計	47%	23%	16%	7%	8%



【中学校】

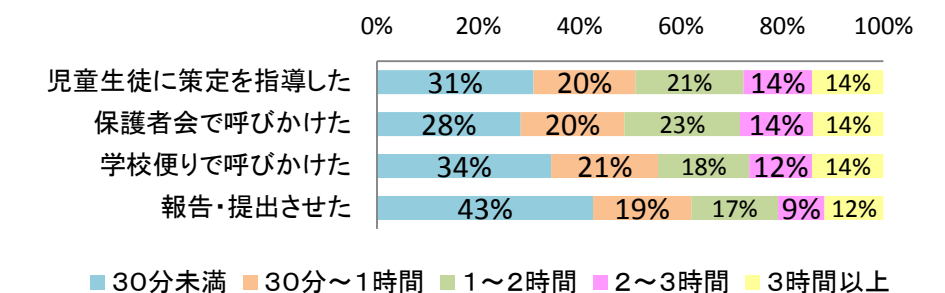
	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間～3時間	3時間以上
中学1年	15%	18%	29%	19%	19%
中学2年	9%	19%	28%	20%	24%
中学3年	13%	17%	27%	23%	20%
中学校計	12%	18%	28%	21%	21%



○ 小中学校ともに、使用時間が年々長くなってきている傾向が見られる。これは所持率の上昇とともに、SNSやスマートフォンゲームにかかる時間が長くなってきていることが原因の一つと推察できる。

III 「SNS 家庭ルール」における学校の働きかけが使用時間に影響

学校質問紙「『SNS 家庭ルール』の策定についてお答えください」と児童・生徒質問紙「携帯電話やスマートフォンを一日にどの位の時間使っていますか。」との相関（クロス集計）



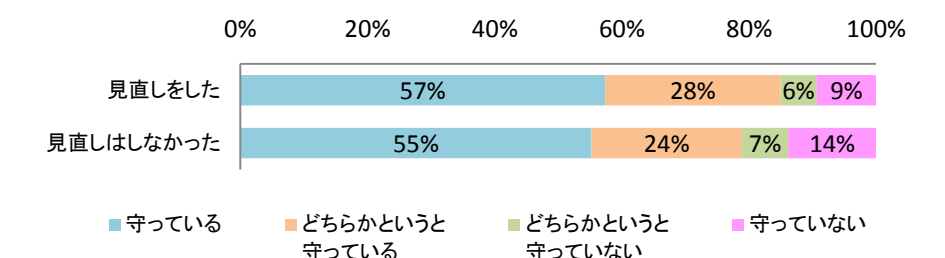
○ 「SNS 家庭ルール」を呼びかけるだけでなく、どのようなルールをつくったのか報告・提出まで行った学校の児童・生徒のスマホ等の使用時間は、少ない傾向が見られた。

IV 学校ルールの見直しを行った学校の児童・生徒は家庭ルールを守る。

「『SNS 学校ルール』の見直しは行わなかった。」と回答した学校数と家庭ルールの遵守状況との相関（クロス集計）

小学校 6校 中学校 3校

見直しへの関わりと家庭ルールの遵守



○ 多くの学校で「SNS 学校ルール」の見直しを行っている。見直しを行った学校の児童・生徒の方が家庭ルールを守っている傾向が見られた。

■ 今後の取組

1 スマートフォン等の使い方に関するリーフレットの作成、配布

2 各学校の保護者会や道徳授業地区公開講座の意見交換会におけるテーマに設定